

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和8年6月号 No.229

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和8年度木材関連団体通常総会開催

名古屋木材組合の通常総会は令和8年5月27日(水)午後1時30分から名古屋木材会館に来賓、組合員48名の出席を得て開催されました。

西垣洋一組合長はあいさつの中で「現在も中東戦争の影響を受けてインフレが加速、市場が縮小している。木材・住宅業界が取り組むべきは、一人ひとりが正確な情報の把握と冷静な対応をすることである。」と述べました。

名古屋木材組合の通常総会議案

- 第1号議案 令和7年度事業報告について
- 第2号議案 令和7年度収支決算について
- 第3号議案 令和8年度事業計画について
- 第4号議案 令和8年度収支予算について
- 第5号議案 令和8年度組合費の賦課及び徴収方法について
- 第6号議案 記念部分林特別会計
 - ①令和7年度事業報告および収支決算の承認について
 - ②令和8年度事業計画及び収支予算の決定について
- 第7号議案 役員の変更について

以上各議案については事務局の説明通り承認されました。

その後来賓を代表して名古屋市長（代理 名古屋市経済局正木彩恵子産業企画課課長補佐）から祝辞が述べられ総会が終了しました。

また、午後2時20分から同所にて（一社）愛知県木材組合連合会の総会において、組合功労者、永年勤続優良従業員表彰式が行われ、下記の方々が表彰されました。

◎組合功労者知事表彰

該当なし

◎永年勤続優良従業員知事賞

株山西 園山英之氏、株山西 渡邊 茂氏

★現行役員が再任で承認されました。



西垣洋一組合長



永年勤続表彰

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

みちしるべ

今、企業に求められている大切な価値「ブランド力」 木材・住宅業界の価値を最大化するブランド戦略を！！

名古屋木材組合
組合長 西 垣 洋 一

ブランド戦略が求められる背景と必要性

近年、企業や製品・サービスにおけるブランド力／ブランド価値の重要性が高まってきています。今や、CX（Customer Experience：顧客体験価値）やEX（Employee Experience：社員体験価値）などという言葉に代表されるように、目に見えない価値や製品の原価を超えた明確に金額化できない価値が重要視されています。

「ブランド」とは、ロゴやブランド名そのものでなく、その企業や商品の提供価値やさまざまな構成要素、ブランドとのコンタクト体験が複合的に結び付いて、消費者・顧客の頭の中で作り上げられるイメージです。又、「ブランディング」とは、企業や製品・サービスによって提案したいブランドアイデンティティやブランド独自の価値を魅力的に伝えることで、消費者・顧客にその価値を認知させイメージを向上させる活動です。

現在は多くの商品・サービスがあふれ、原材料費・人件費の高騰によるコストアップ、人口減少、少子高齢化、インフレ基調での値上げ、コモディティ化（商品価値の汎用化）の加速による付加価値や収益性の低下など、企業が直面する課題は多岐に渡ります。又、世界はロシアによるウクライナ侵攻を一つの転機として、安定から混迷の時代へと移行しました。ホルムズ海峡をめぐるリスクは、決して一過性のものではなく、こうした環境下では「より安価な調達先を求める」という従来のデフレ的発想は通用しないなど、環境変化のスピードは速く、市場環境はますます厳しいものとなり、価格戦略がうまく立ちいかない企業が増えています。ブランドが持つ価値観やストーリーに共感してもらい、価格や機能ではないブランド力で差別化を図ることにより、企業価値が向上し、競争力が高まり、企業成長につながります。

ブランドを高める3つの視点

企業が勝ち抜くための「ブランド」。それを高める「ブランディング」。その成功の鍵となるのが、下記の3つの視点を持つことです。

- 「専門価値」（商品・サービスの独自性、技術力で選ばれる）
- 「人材価値」（社員の能力や人柄、組織風土の良さで顧客の信頼を得る）
- 「社会価値」（地域貢献や環境保護など世の中に良い影響を与え支持される）

これらの視点から自社が強みを発揮できるブランドの素材を発見し、磨くことでブランディングの方向付けが明確になります。そして、「本質的価値」の確立、真の顧客とのコミュニケーションによる長期的な信頼関係の構築が、この厳しい環境下で勝ち抜くための条件です。又、独自の技術やサービスで選ばれる「専門価値」を核としつつ、それを体現する社員の魅力や組織風土である「人材価値」、そして地域や環境への貢献姿勢を示す「社会価値」が重なり合うことで、ブランドはより強固なものへ進化します。ブランド、ブランディングは、単に商品売るためのテクニックではありません。それは自社の誇りや「らしさ」を言語化し、次世代へと受け継ぐための経営の土台を築くプロセスです。一朝一夕に築けるものではなく、今この瞬間から着実な一歩を刻み、独自の価値を積み上げ続ける姿勢が求められています。

現在も中東戦争の影響を受けてインフレが加速、市場が縮小し、コストプッシュ型の値上げが進む中、木材・住宅業界が取り組むべきは、一人ひとりが正確な情報の把握と冷静な対応が必要となります。揺るぎない「本質的価値」の確立こそが、激変する市場環境において唯一無二の存在感を放ち、持続可能な未来を切り拓くための強力な原動力となるのです。

◆ 合縁木縁 ◆

「木型業界の変遷と重要性」

弊社は創業当初から木型用資材販売を主に行って参りました。今回は現在の木型業界について焦点を当てて発信をしていきたいと思っております。

工業用木型は、産業革命により機械の発達や汽車の開通、鋳鉄管の普及など、鋳物の量産に伴って木型の需要は増大していきました。

しかしながら、時代の流れとともに金型や樹脂型、発泡スチロール型など原材料の変化、機械加工の技術向上による他社製品との差別化の難航、海外生産など国内での生産が減ったことによる鋳物業界の縮小、人材が集まらないことによる後継者不足、このような原因が多くあり木型を専門にした企業が減少してきました。木型の組合である日本木型工業会も30年前は会員が全国で約300社あったのが、現在は約30社と10分の1まで減少しております。

私自身、この業界に入るまでは木型というものについて触れる機会もなく、木型自体を見ることはありませんでした。この仕事を始めて木型というものがいかに緻密に計算されて作られているのかを知りました。自然のものを使うため柾目、板目を見ながら温度や湿度によって形状の変化が出ないように組み合わせで切削して作らなければなりません。1ミリ以下の誤差でさえ最終的に鋳物が完成し、船や車のエンジン等になった際に動かないということが起きてしまいます。木型というのは皆さんが日常生活をする中で普段使っているものを作るのに欠かせないものです。

なかなか、日の目を見ることのない業界ですが、私はそんな木型を作る企業に資材の提供が出来ることを誇りに感じています。これからも質の高い材料を提供し続けると共に、新たな資材を製作して木型業界のこれからの発展に貢献していきたいと思っております。

今回は、株式会社ヤトミ製材 加藤 圭一郎氏にお願いいたします。

木場すずめ

「日帰り登山」

私と妻の趣味の1つに「日帰り登山」があり毎年春と秋に登っています。

文字通り日帰りで山頂まで登り、下山できる山になるので標高1,000m以下の低山が多くなりますが、場所によっては低山でも登山の良さを体験できる山があります。

今回はこれから登山を始めてみたいという方や、興味のある方へ「納古山 (のこやま)」をお勧めします。岐阜県加茂郡七宗町と川辺町にまたがる標高632mの低山です。眺望が良く、晴天であれば山頂からは御嶽山、中央アルプス、名古屋駅周辺のビル群まで見る事ができます。

登山口から山頂までは約1時間で、急登や岩場があり少々ハードですが山頂まで登れば達成感と眺望の良さを感じると思います。

登山者には1人～複数人の女性グループやご家族で来ている方を多く見かけ、ハードな登りの後でも皆さん山頂でお昼ごはんを食べながら楽しそうにお話されています。

私は今年の3月中旬に初めて納古山に登り山頂の眺望を気に入ってしまいました。そしていつか「木場すずめ」でこの良さを記事にしようと決めました。

この他にも短時間で登れる低山はたくさんあります。本格的な登山は無理でも低山なら年齢や性別に関係なく楽しめると思います。これからの季節を日頃の運動不足解消や気分転換に一度チャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

但し、低山でも足元が不安定な箇所もありますので登山の際にはスニーカーよりも安全のため登山靴を履くことをお勧めします。

第76回全名古屋木材産業野球大会閉幕

第76回全名古屋木材産業野球大会（名古屋木材健康保険組合、名古屋木材組合、名古屋港木材産業協同組合共催）は、5月10日（日）午前10時50分から決勝戦が山西とヤマガタヤの間で行われ、
優勝 山西 準優勝 ヤマガタヤ
三位 サンコー という結果となりました。
 最優秀選手賞に山西チームの堀 将大選手が選ばれ、優秀選手賞にヤマガタヤチームの土井甚弥選手が選ばれました。



決勝戦	一	二	三	四	五	六	七	計
山西	0	0	0	0	0	0	5	5
ヤマガタヤ	0	0	0	0	1	0	0	1

お知らせ

名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会からのお知らせ

5月15日（金）に飛鳥村よりプール券が贈呈されました。また、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会・西部臨海工業地帯防犯協会の総会が5月19日（火）に名古屋港木材会館にて開催されました。



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

注意！住宅対象侵入盗被害の高額化

令和7年度、住宅対象侵入盗の平均被害額が約229万円でしたが、今年に入り約496万円と被害額が高額化しています。高額被害に遭ってしまった被害者の多くは、多額の現金、金地金、高級腕時計やブランドバッグ等を多数自宅に保管していました。現金等の自宅保管はリスクが高いためできるだけ避け、必要があって自宅で保管する際は、床や壁に金庫を固定できる防盜性の高い金庫で保管しましょう。また、SNSで高級品の写真や、旅行で不在等の情報を発信しないように心がけましょう。

【高額な現金は自宅保管NG!】【SNSで狙われるような発信をしないこと】

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

Technology for Clean Air & Bulk Handling

INOUE

集塵装置の省電力・安全
木質バイオマスの利活用

ご提案します!!

快適な環境づくりに取り組む
井上電設株式会社
〒460-0022 名古屋市中区金山4丁目3-17
052-322-5271 <https://www.inoue-d.co.jp>

世界初！
100%リサイクルせっこうボード

チヨダサーキュラーせっこうボード
CHIYODA CIRCULAR BOARD

廃せっこうボードから作られたリサイクル石膏を100%使用し、製造時のカーボンニュートラルを実現しました。

- 廃せっこうボードを100%原料に使用
- 製造時のカーボンニュートラル
- 従来製品と同じ高い耐火性能

共に築み、明日を創る。
CHUYODA VISION ZERO ちよだサー

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部伸一
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会